科目ナンバー	BUA-2-017-jk			科目名 管理会計						
教員名	早田 巳代-				開講年度常	≠期 20			単位数	2
概要	管理会計は、組織における様々な経営意思決定と業績管理に有効な会計情報を提供することを目的としている。本講義では、管理会計の内容を発展させ、意思決定並びに業績の測定・評価に焦点を当てる。なお、2007年の法人減価償却制度改正を中心とした実践的な技法と知識の習得を目的とする。									
到達目標	2007年の活	去人減価償	却制度改正	Eを中心とし	た実践的な	技法と知	田識の習得る	を目的とし半	削断力を養	う。
「共愛12の力」と	の対応	_								
識見	自律する力		_	コミュニケーションカ			問題に対応	題に対応する力		
共生のための知言	能 〇	自己を理	解する力	0	伝え合う力		0		析し、思考するカ	
共生のための態度	隻	自己を抑	制する力		協働するた	1	ļ	構想し、実	想し、実行するカ	
グローカル・マイ ンド		主体性			関係を構築	でする力	0	実践的スキ	践的スキル	
教授法及び課題の フィードバック方 法	講義一辺位			るひ学生から で付けること		P発表を	通して、事例	を中心とし	た管理会	計理
アクティブラーニン	ング	0	サービス	ラーニング			課題解決型	型学修		0
受講条件 前担 科目	世で理会計を受講済であること。									
アセスメントポリ シー及び評価方法	授業の参加態度20%、PPによる発表10%、期末テスト70%の割合で評価する。									
 教材	書名商流		簿記会計:	学著者名 与	早田巳代一に	出版社	学文社ISBN	978476	5202274	ŀ6
参考図書		わしづかみシリーズ 管理会計を学ぶ 著 溝口周二 奥山茂 田中弘財務諸諸表 理論と並行した実践 著早田巳代一日経コンピュータ No775からNo781の連載 基礎から学ぶ企業会計 著 早田巳代一								
内容・スケジュー	ル									
1週目										
	法人の減価償	算却制度の	改正が意図	図するところ						
授業外学修内 容	法人の減価償	賞却制度を	国税庁のH	Pから調査す	する			時間数	½ 2	
2週目										
	法人の減価償	賞却制度の	改正内容0)確認						
授業外学修内 容	国際的なイコールフッティング意味を調査				時間数	½ 2				
3週目										
授業学修内容	残存簿価1円の考え方とここまでの流れ									
授業外学修内 容	残存簿価1円で何が変わるか発表準備					時間数	t 3			
4週目										
	国際財務報告書基準と国税庁の考え方の相違									
授業外学修内 容	国税庁のHPから実例計算を閲覧					時間数	ઇ 1			
5週目 受業学修内容	法定耐用年数	女の見方と意	意図すると	ころ				1		
5週目 授業学修内容 授業外学修内	法定耐用年数法定耐用年数		意図すると	ころ				時間数	女 1	
5週目 授業学修内容 授業外学修内			意図すると					時間数	女 1	
5週目 授業学修内容 授業外学修内 容 6週目		対表の研究		ころ				時間数	文 1	
5週目 授業学修内容 授業外学修内 容 6週目 授業学修内容 授業学修内容	法定耐用年数	対表の研究 対表の研究 は処理の習行	导					時間数時間数		

授業外学修内 容	断たな定率法処理計算練習	時間数	2				
8週目							
授業学修内容 第	受業学修内容 新たな定率法における保証率と改定率関係						
授業外学修内 容	断たな定率法における保証率と改定率関係計算練習	時間数	3				
9週目							
授業学修内容	析たな定率法におけるグラフと表の作成						
授業外学修内 容	断たな定率法におけるグラフと表の作成練習	時間数	1				
10週目							
授業学修内容	日定率法処理の95%処理方法						
授業外学修内 容	日定率法処理の95%処理方法練習	時間数	3				
11週目							
授業学修内容	日定率法処の1円処理計算練習						
授業外学修内 容	日定率法処の1円処理計算問題練習	時間数	1				
12週目							
授業学修内容	日定額法処理の習得						
授業外学修内 容	日定額法処理の問題練習	時間数	2				
13週目							
授業学修内容	日定額法処理の95%処理方法						
授業外学修内 容	日定額法処理の95%処理方法練習	時間数	2				
14週目							
授業学修内容	粗利」の考え方と計算						
授業外学修内 容	粗利」の実務計算練習	時間数	1				
15週目							
授業学修内容	粗利」と減価償却費の合計が意図するところと						
授業外学修内 容	5会の総合復習	時間数	3				
上記の授業外学修	上記の授業外学修時間の合計 30						
その他に必要な自	習時間	60					

Number	BUA-2-017-jk		Administrative Accounting II				
Name	I早田 P代ー(Havata Mivokazu)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2		
	Write-off system of corporation was greatly changed in April 2007. I make the international IKO RUFUTTING so clear using this new system. The students can learn about the useful ways of usin g these two systems for corporate management in the end.						